

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月21日

協議会名: 八千代町公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

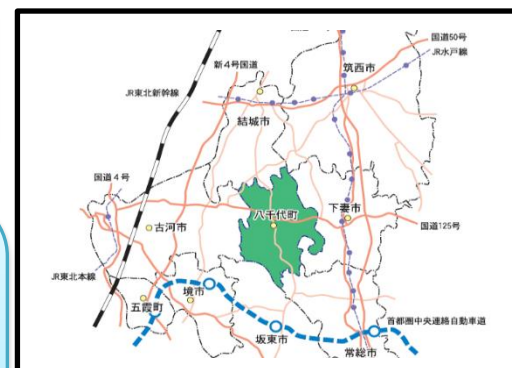
①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)青木観光	デマンド交通「八菜まわ～る号」 運行区域: 八千代町内全域 運行日: 月曜～金曜 (土日祝日、お盆8月13日～8月16日、年末年始12月29日～1月3日は運休) 運行時間帯: 8時00分～16時00分 運行本数: 9便／日 運行車両: 3台 運賃: 300円 (ただし、第1種身体・知的障がい者及び精神障がい1級の方の介添人1名、妊婦(母子手帳保持者)の介添人1名、未就学児は無料)	住民に対し、デマンド交通をさらに周知いただき、利用者増を図られたいとの評価結果を受け、下記の取組を行った。 ▼民生・児童委員定例会にて、八菜まわ～る号の利用登録募集及び高齢者運転免許自主返納支援事業(運転免許を自主返納した65歳以上の高齢者に対し、八菜まわ～る号の利用券30枚交付)を周知した。 ▼広報誌を活用し、八菜まわ～る号の無料乗車券を配布した。 ▼町秋まつりにおいて、利用登録募集及び車両を展示し、八菜まわ～る号のPRを行った。 ▼令和6年4月より運行ダイヤを30分間隔に改定し、本数を増やした。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 目標: 1日平均利用者数13.37人以上、年間延べ利用者数3,250人以上 実績: 1日平均利用者数13.9人、年間延べ利用者数3,318人 分析: 令和6年4月から運行ダイヤを30分間隔に改定し、利便性が向上した事が理由として挙げられる。	▼新規利用者を継続的に確保するため、引き続き、広報誌等を活用し、町イベント等でのPRに取り組む。 ▼町の高齢福祉部門と連携し、運転免許返納促進事業を継続して行い、高齢ドライバーの交通事故を防止するとともに、「八菜まわ～る号」の利用率向上に繋げる。 ▼町内の公共交通網を整備していくことで利便性を図り、今後、利用状況の推移を見ながら、さらに利便性の向上に向けた取組を行う。
サワキ観光(株)					
(有)沢木交通	令和6年4月1日運行ダイヤ改定 運行時間帯: 8時00分～16時30分 運行本数: 18便／日				

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月21日

協議会名：	八千代町公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	八千代町地域公共交通計画の基本的な方針:「誰もが便利・安心に利用できる公共交通」 地域公共交通網を整備し、誰もが安心して移動できるよう、利便性のある交通手段を確保するため、 デマンド交通として「八菜まわ～る号」を運行する。

令和6年度 八千代町公共交通会議 (茨城県八千代町) (地域内フィーダー系統確保維持事業)



地域の公共交通等の現況

八千代町の公共交通は、隣接市町においてJR宇都宮線、JR水戸線、関東鉄道常総線が運行されているものの、鉄道駅と八千代町内をつないでいる公共交通は茨城急行自動車(株)が運行する路線バス(1路線)のみで、その他の移動手段はタクシーのみとなっている。また、町全域に人口が分布しているため、自家用車や運転免許を持たない方にとっては、町内の移動であっても非常に不便な地域となっている。こうした地域交通の不便さを解消し、町民の誰もが移動しやすい環境を整備するため、地域公共交通確保維持事業により、令和2年10月から町内全域を運行エリアとするデマンド交通「八菜まわ〜る号」の運行を開始した。これにより、町民の生活交通手段を確保・維持していくとともに、「八菜まわ〜る号」と地域間幹線系統バスを接続させることで、町全域が鉄道駅(古河駅)とつながり、町民の生活利便性が向上した。

交通計画の基本方針／地域公共交通に関する施策・取組の概要

町外へアクセスできる地域間幹線系統バスに接続したり、町内の病院や商業施設等への移動手段として「八菜まわ〜る号」を運行することにより、交通空白地帯を解消する。
令和6年3月に地域公共交通計画を策定。

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

実績：1日平均利用者数13.9人、年間延べ利用者数3,318人

- ・民生委員、児童委員や老人クラブなどにPRを行い、町秋まつりにおいて車両を展示する等、八菜まわ〜る号のPRを行った。
- ・高齢者運転免許自主返納支援事業(運転免許を自主返納した65歳以上の高齢者に対し、八菜まわ〜る号の利用券30枚交付を実施した。
- ・広報紙を活用し、八菜まわ〜る号の無料乗車券を配布した。
- ・運行ダイヤを改定し、利便性の向上を図った。

アピールポイント

町内全域をカバーする「八菜まわ〜る号」を導入したことにより、特に高齢者等の移動手段を持たない町民の移動手段を確保することができ、外出促進・地域活性化につながった。
高齢者運転免許自主返納支援事業(運転免許を自主返納した65歳以上の高齢者に対し、八菜まわ〜る号の利用券30枚交付)を継続的に実施している。
1時間毎運行で1日9便であったが、30分毎運行で1日18便に改定し、利用しやすい環境を整備した。

面積	58.99 km ²
人口 (R6.4.1時点)	21,049人
15歳未満	2,109人
65歳以上	6,662人
高齢化率	31.6%

交通計画の策定年月日

令和6年3月計画策定

協議会開催状況

(令和6年度事業年度に係るもの)

- ・第1回(令和6年6月19日)
令和5年度事業・収支決算報告
令和6年度事業計画・収支予算
フィーダー系統確保維持計画認定
- ・第2回(令和7年1月21日)
八菜まわ〜る号実績報告
フィーダー系統確保維持計画事業評価

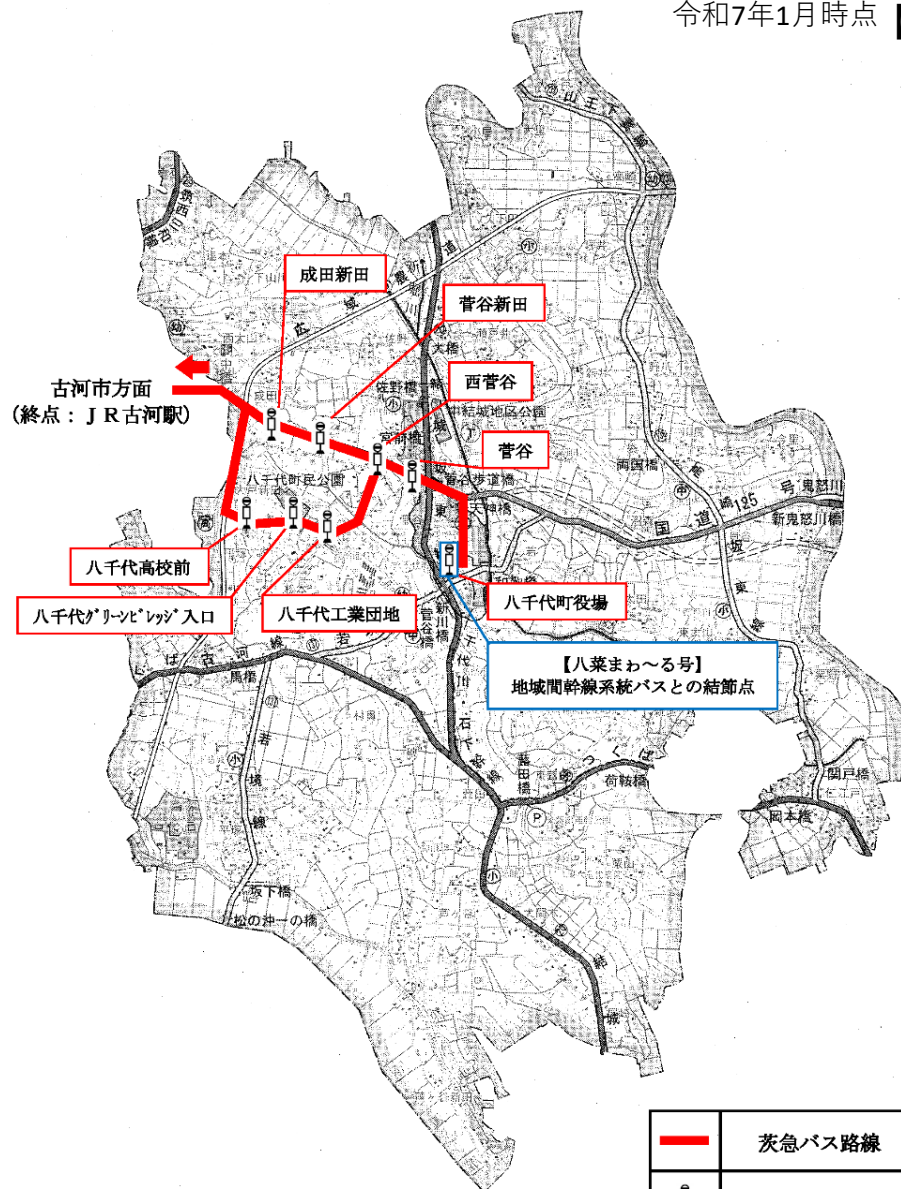
八菜まわ～る号運行区域図

八菜まわ～る号（運行区域＝町内全域）

令和7年1月時点【利用状況（令和5年10月～令和6年9月）】

- (1)総利用登録者数：911人
- (2)延べ利用者数：3,318人，1日平均：13.9人，運行日数：239日

【利用促進の取り組み】



(1)

(2)

(3)



- (1)広報用三つ折りパンフレット
...公共施設、医療機関、商業施設に設置
- (2)運行ダイヤ改定PRチラシ
...公共施設、医療機関、商業施設に設置
- (3)無料利用券配布
...町広報誌に掲載